

入来地域まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H18年度末)	進捗状況 (H19年度末)	進捗状況 (H20年度末)	進捗状況 (H21年度末)	進捗状況 (H22年度末)	地域振興計画	H18当初予算	H19当初予算	H20当初予算	H21当初予算	H22当初予算	事業完成分	
H17	1	副田	温泉場地区土地区画整理事業の今後の見直し	入来区画整理推進室	工事が進めながら、今後整備を行うところの整備のしかたについて検討を行う。検討結果が整理できた段階で、地元説明会を行いたい	工事については、本年度予定箇所の整備を進めているところで、今後の整備の検討については、検討結果の整理を行っているところである。		工事・建物移転補償等については、本年度予定箇所を実施。都市計画の変更決定に基づき、事業計画変更の手続きを行っているところである。	平成20年度までに事業見直しに関する全ての事務を完了した。今後は、新たな事業計画に基づき本格的に事業推進を図る。			○	○					○	
H17	2	副田	観光道路の整備・建設	観光課	観光資源を連携・関連して結びつけるために、観光協会で観光ルートコンテストを実施することとしている	平成17年10月に観光ルートコンテストは実施した。		・平成17年10月に観光ルートは実施した。市内旅行バック造成事業により、入来地域へのコースを実施している。	市内旅行バック造成事業により、入来地域のコースを実施した。	日帰りバスツアー事業により、入来地域のコースを実施した。	周遊バスのコースに取り入れるなど、近隣観光資源と連携を図っている。今後も、積極的な活用を図りたい。							○	
H17	2	副田	観光道路の整備・建設	建設整備課	市道環防線から額弁田池を結ぶ市道入来岩線について、幅員の狭い箇所は側溝整備で対応し、待避所等については計画的に実施したい	H18において、状況調査等を行いたい。		・緊急性や優先等を勘案し、今後の施工としたい。	年次的に実施中	・緊急性の調査を実施した。 ・一部道路整備（側溝布設）を実施中。	・一部側溝及びオーバレイ等実施（側溝L=488m、オーバレイA=1,614m）	○					○		
H17	3	副田	副田地区コミュニティセンターの早期移転	コミュニティ課	平成18年4月1日を以て、アゼロ湯から入来文化ホール別館に移転し、同時に地区公民館としての機能も移転する予定である	平成18年4月1日からの使用に向け条例改正、ネットワーク構築工事等の環境整備を実施している		完結										○	
H17	4	清色	県道山田入来線の早期改良	建設政策課	県では、平成17年度は測量設計及び関係機関と協議中であり、平成18年度から着工したいということであった	川内土木事務所道路維持課において平成18年度 工事予定である。		事業中（清色橋橋台）	事業中（清色橋下部工）	事業中（上部工製作） 景観整備の基本計画を策定	事業中（上部工）								
H17	5	清色	伝統的建造物群保存地区と清色場史跡指定地区の整備計画	文化課	まだ城跡全体が公有化されていないため、具体的な整備計画は今後検討することになる。当面は、用地取得に努めたい	今年度の用地購入は、18筆（55,011㎡）を取得した。伝建地区保存修理事業は、2部宅を修理した。		平成19年度の用地購入は、9筆（30,915㎡）を取得した。伝建地区保存修理事業は、3物件を修理修景した。		平成21年度の用地購入は、17筆（19,625㎡）を取得した。伝建地区保存修理事業は、6物件を修理修景した。	清色城跡の指定地での購入予定地は終了し、散策道の設置を進めていきたい。伝建地区では、右垣修理工事と旧増田家住宅保存修理工事、街なみ環境整備事業を着手した。		○					○	○
H17	6	清色	松山温泉団地の追加整備	企画政策課	各地域で宅地造成等の要望が出されるが、全体的な観点から、新たな宅地造成・分譲事業を直ちに行う考えはない	-		-											○
H17	7	朝陽	自治会再編と未加入者対策	コミュニティ課	自治会合併について、行政の助言や支援の要請等があれば、十分に対応したい。未加入者対策は、加入促進のハガキ送付等により対応したい	毎月前月の異動者に対して加入促進ハガキを送付し、2月には未加入者に封書にて加入促進文書を送付して未加入者対策をおこなっていました。また、県宅地建物取引業協会北薩支部幹部の皆さんと意見交換会を開催。		前年度同様加入促進ハガキの送付や、自治会異動連絡表によって自治会長に周知を図っている。なお、案内文書の改善を行った。										○	
H17	8	朝陽	県道42号線（市野々入口・朝陽小下・天貴美付近・蒲生原入口・堂園カーブ等）の道路整備	建設政策課	危険な状況となる箇所については、県へ対策を要望したい	県にて調査検討中。		天貴美住宅前の横断歩道は整備済み	建設政策課分はH19年度完了										○
H17	8	朝陽	地区内の市道改良	建設整備課	市道松田下線については、地区内で整備順位の検討を。市道長牟田線については、来年度以降工事施工をしたい	回答概要のとおり。（長牟田線のみ地区振興計画・H18当初予算）		・市道長牟田線：L=140m施工済。	平成21年度再開	・長牟田線L=170mを実施した。 ・残りL=120mについては、地権者の協力が得られないため中断の予定。	・地権者の同意が得られない。未実施	○	○						
H17	9	朝陽	朝陽地区での農業集落排水事業の実施	下水道課	旧入来町において検討された結果、経済的な問題、地域的な特性、市財政負担の観点から、合併処理浄化槽設置を推進したい	回答概要のとおり。		回答概要のとおり。	回答概要のとおり。										○
H17	9	朝陽	合併処理浄化槽設置時の補助	環境課	合併により補助額を変更、経過措置を設け、平成18年度から全区域統一した取扱いとなる。単独処理浄化槽からの切替え時も補助がある	平成17年度実績 入来地域…30基（5人槽…18基、7人槽…11基、10人槽…1基、単独切替…3基）		平成19年度実績 入来地域…30基（5人槽…22基、7人槽…8基、単独切替…2基）					○		○				○
H17	10	大馬越	公営住宅建設	建築住宅課	本年度実施する公営住宅ストック活用計画の見直しの中で、全体的な計画をしていく	公営住宅ストック活用計画(案)では、非現地建替の計画であり、今後、実施に向け検討する。		建替事業については、非常に厳しい状況である。今後の住宅整備については、平成22年度の「藤原川内市営住宅ストック総合活用計画」の見直しの中で検討していきたい。	建替事業については、非常に厳しい状況である。今後の住宅整備については、平成22年度の「公営住宅等長寿命化計画」のなかで住宅整備については検討していきたい。	平成22年度に実施予定の「公営住宅等長寿命化計画」のなかで住宅整備については検討していきたい。今後は、地区コミと協議していきたい。									
H17	11	大馬越	地区内の道路の拡幅	建設整備課	交通安全上支障のある箇所等については計画的に対応したい。要望路線が多いことから、地区内の整備順位を検討いただきたい	回答概要のとおり。（H18において、現地調査等を実施する。）		・橋梁の現地調査を実施し、緊急性があるためH20年度予算要求。（市道長野線）	支所産業建設課にて一部実施予定	・長野線（橋梁部）の一部実施。	・市道長野線を実施中	○			○	○	○	○	
H17	12	大馬越	国県道の改良整備と合わせたきんかんの里ふれあい館への駐車場の整備	農政課	現在の駐車場ではどうしても足りないということになれば、道路の整備を含め、国県等と調整をして参りたい	現在これまでの経緯もふまえて支所と協議中であるが、必要性等を整理しながら状況を検討したい。		財政的にも、現駐車場の拡張については、厳しい状況である。現駐車場の有効的な活用による集客に努めていただきたい。	財政的にも、現駐車場の拡張については、厳しい状況である。現駐車場の有効的な活用による集客に努めていただきたい。	財政的にも、現駐車場の拡張については、厳しい状況である。現駐車場の有効的な活用による集客に努めていただきたい。	財政的にも、現駐車場の拡張については、厳しい状況である。現駐車場の有効的な活用による集客に努めていただきたい。								
H17	12追加	大馬越	きんかんの里ふれあい館と道の駅の違い	建設政策課	道の駅は、サービスの提供、施設の位置、バリアフリー化された施設や情報を提供する案内コーナーがあるかなど基準を満たしたものの	-		-											○
H17	12追加	大馬越	国道328号の路線変更	建設政策課	国から、きんかんの里ふれあい館付近の改良は終了したとの回答を受けており、土地を駐車場として用いることは今の段階では難しい	回答概要のとおり。		右折レーン設置を要望中であり、今後も引き続き要望したい。（国道328号整備促進期成会にて）	回答のとおり	回答のとおり									
H17	13	八重	地区内の幹線市道の早期改良	建設整備課	市道武田・水戸線は、実施に向け鋭意努力したい。市道八重線の計画箇所及び待避所等の必要な箇所については計画的に整備したい	H18において市道武田・水戸線については、測量設計・橋梁調査等の業務委託を実施予定。市道八重線については、改良舗装工事を計画している。		・市道環渡水戸線：完結。 ・市道武田水戸線：橋梁町側より用地補償実施中 ・市道八重線：L=253m施工済。H20完了	武田・水戸線継続実施中、八重線地すべり発生により、完了が21年度までずれ込む	・八重線の整備区間の完結		○	○					○	
H17	14	八重	八重地区コミセンの改修について	コミュニティ課	倉庫の設置は、コミュニティ助成事業を検討いただきたい。入口のバリアフリー化は、スロープの設置や階段手すり等の設置で対応したい	倉庫の設置については19年度コミュニティ助成事業の希望を出して頂くよう調整している。また、入り口のスロープ化については18年度事業で実施予定。		平成18年度のコミュニティ助成事業により倉庫設置済み。											○
H17	15	八重	電気柵設置補助の拡大及び害獣防除柵支給の拡大	農政課	電気柵は、県単事業に採択されない小規模なものでも市で補助事業を実施。防護ネット等は補助対象でないため電気柵を活用いただきたい	平成16年度より、イノシシで市単独事業（30a）を導入したところであるが、林務水産課関係事業（シカ）もあるので、併せて利用していただくようPRしていきたい。		平成19年度から、農林産物をイノシシやシカ等の被害から防止するため、電気柵や防鳥ネット等も設置する「イノシシ等被害防止電柵導入事業補助金」制度を新規に導入した。対象農地等の要件も10a以上で個人でも補助対象。				○	○		○				○
H17	その他	大馬越	大馬越地区における温泉施設の整備	企画政策課	地区振興計画の中に盛り込んで、温泉が掘削できるかどうか、知恵を出し合っていたきたい。市での整備は現在難しい	-		-											○
H17	その他		温泉場地区土地区画整理事業があと何年かかるといわれるのか	入来区画整理推進室	旧入来町での事業計画では、財政の担当と事業を推進する課との整合性が取れていなかった。一部計画を見直し進めてまいりたい	検討を行っているところである。		都市計画変更（区域・道路・用地）の決定を終え、事業計画変更に向け、国・県・地元と協議を進めながら事業推進を図っている。	平成20年度までに事業計画の変更を完了しており、新たな事業計画では、事業期間は平成30年度まで、また、総事業費は約66億円となっている。			○	○						○
H17	その他		給食サービスの打ち切り	高齢・障害福祉課	合併後3年間は実施するが、食の自立支援事業において、真に必要な方にサービスを提供するという趣旨のもと、基準を設けている	平成18年4月から、利用料・利用基準などを全区域統一し、真に必要な方へサービスを提供する。		平成18年4月から脆弱な高齢者を対象として、高齢者訪問給食サービス事業を実施中。					○						○
H17	その他		肺がん検診での待ち時間	市民健康課	どういった人員配置だったのか等を担当と話をし、できるだけ待ち時間を少なくして、受診に来られた方に迷惑をかけないようにしたい	待ち時間ができるだけ少なくなるよう日数、会場等の設定を検討中。		健診時間を地区割にした。											○

入来地域まちづくり懇話会 進捗状況一覧

Table with columns: 開催年度, 議題, 地区, 議題内容, 所管課, 回答概要, 進捗状況 (H17年度末), 進捗状況 (H18年度末), 進捗状況 (H19年度末), 進捗状況 (H20年度末), 進捗状況 (H21年度末), 進捗状況 (H22年度末), 進捗状況 (H22年度末) (with sub-columns for fiscal years H18 to H22), 事業完結分. Rows include various topics like bus routes, youth support, website updates, community activities, and infrastructure projects.

入来地域まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H18年度末)	進捗状況 (H19年度末)	進捗状況 (H20年度末)	進捗状況 (H21年度末)	進捗状況 (H22年度末)	地域振興計画	H18当初予算	H19当初予算	H20当初予算	H21当初予算	H22当初予算	H23当初予算	事業完成分		
H18		4 副田	合併して2年、本庁から直接の依頼などがあり、市民、地区コミ、自治会、支所の担当職員共々、困惑することがある。(例：基本健康診査申込書の地区コミへの回収依頼、リサイクル推進員の報酬振込通知が遅く自治会決算書の修正等) また、行政情報が市民に十分に周知されておらず、意思が市へ伝わらない状況ではないかと考える。市はそのような現状を把握しているのか、改善策等を考えているのか意見を聞きたい	環境課	本年度当初にお願いしたが、36自治会が個人口座を記入し、払込通知書の発送がずれ込んだ。今後は3月上旬に口座振込と通知書を送付したい		ごみ減量再資源化補助金(リサイクル推進員設置補助)は、3月9日(金)に自治会口座へ振込みを行う旨を2月21日付け文書で各自治会長宛通知した		ごみ減量再資源化補助金(リサイクル推進員設置補助)は、3月10日(月)に自治会口座へ振込を行った。		ごみ減量再資源化補助金(リサイクル推進員設置補助)は、3月10日(水)に自治会口座へ振込を行った。			○	○	○	○		○		
H18				市民健康課	回収依頼が地区コミュニティに十分に伝達されていなかった点も、支所及び地区コミュニティとの連携や周知方法を改善したい		地区コミュニティセンターは平成19年度も健診申込書の回収指定場所をお願いしたところであるが、配布前に十分周知を図ったところである		18年度の方法に加え、返信用封筒で直接市役所に返送を可能にした。												○
H18				コミュニティ課	広報紙などを毎月2回送達している。事前に発送計画を自治会長に示し、計画にない文書は、コミュニティ課、地域振興課を通じ送達している		本庁各担当課所から直接、地区コミ協へ依頼文書等が送達されないよう、全庁的に周知を図り、必ずコミュニティ課を回付し、内容確認をおこなっているところである。今後においても、さらに徹底するよう周知と調整を徹底していきたい。		本庁各担当課所から地区コミュニティ協議会へ依頼文書が送達されないよう、全庁的に周知を図り、必ずコミュニティ課を回付し、内容確認を行っているところである。今後においても、さらに徹底するよう周知と調整を徹底していきたい。							○					○
H18	5	清色	国道道を結ぶ市道須ノ場線側からの入口から120メートル程が未改良。通学道路でもあり歩行者への危険も感じるので改良を	建設整備課	久木宇都・須ノ場線は112mが未整備で残っている。地権者の同意が得られなかったと聞いた。理解が得られれば緊急性等を動かし検討したい		地権者との接触を行うと共に、地域の優先、緊急性を研究したい		H19年度で用地買収が完了した。H20年度に実施予定。		平成20年度完了									○	
H18	5	清色	未整備の120mのうち約60メートルは買収済みでありその分だけでもできないか。残りの買収はどこが行うか	建設整備課	緊急性等を動かし判断したい。用地買収が済んだ60m区間を離合場所として活用いただきたい。		現在、用地買収が済んだ部分については離合場所として利用している		H19年度で用地買収が完了した。H20年度に実施予定。	同左										○	
H18	6	清色	清色地区には家を借りたいという人は多いが、適当な空き家はない。久木宇都地区に適地があるので、市営住宅の建設を望む	建築住宅課	新設する場合は、老朽化した公営住宅を整理統合するような形。定住が目的であれば、公営住宅より一般住宅や特定公営賃貸住宅が合致している		ストック活用計画では、地区内の老朽化した市営住宅の統廃合の形で計画している。実施時期については未定である。久木宇都地区の適地についてはH18.8.29清色コミュニティ会長と現地を視察、地元建設会社の所有地、用地取得が必要である		地元より適地と示された土地は、平成19年6月に売却され、現在は葬祭場が建設されていることから、地元を交えて検討していきたい。		平成22年度に実施予定の「公営住宅等長寿命化計画」のなかで住宅整備については検討していきたい。									○	
H18	7	清色	公園用地の未利用地の南西側には、孟宗竹が繁茂している。この孟宗竹を有効活用するためにも、協議会で管理し、竹林のオーナー制度等により観光資源として活かさないか検討しているが、協議会での利用は可能か、竹林改良等を実施しようとする場合、補助の対象になるか	林務水産課	協議会の利用は手続を終れば可能だが、非常に繁茂しており整備が先決。竹林改良事業は竹林を育むための改良事業ではなく取り組みはできない		竹材の活用について検討を重ねていく		竹材の活用については、18年度同様有効な活用はないため、今後も検討していく。		竹林改良については、協議会の取組みでの協力は可能であるが、平成18年度から検討した結果、竹林改良の趣旨が現在、県事業等でおこなっていることと一致しないため、補助対象外であり、補助事業では整備はできない。									○	
H18				観光課	国指定の史跡、埋蔵文化財に指定されており関係機関との協議を要する。整備が可能となった場合には観光資源として活かさないか検討したい		検討中		検討中		市内旅行バック造成事業により、入来地域のコースを実施した。		日帰りバスツアー事業により、入来地域のコースを実施した。								
H18	8	朝陽	朝陽地区コミュニティセンターの外トイレはマナーの悪い利用者が多い。乗入れ規制や、夜間の使用制限ができないか	建設整備課	駐車場は普通公園として管理している。大型車両だけの規制は難しく看板等によりお願いをする。夜間は、地区コミで柵の管理をするならば可能		平成18年度で大型車両規制の看板設置済み。公園入口の柵(車止め)は設置済み		—											○	
H18	9	朝陽	新大橋は「第46-16号登録有形文化財(文化庁)」。～～上記建造物は、重要な国民的財産」とあるが、この貴重な資源を活かし、橋の周辺を観光地として整備したい。そこで、国登録により、どのような保存管理が行われるのか、また、上記の計画にあたり河川等の規制の問題はないか	文化課	文化財の登録制度は、文化財を活用しながら保存活用できる。現状のまま活用・保存し、景観を変えず、地域の文化財として残していける		回答の通り		回答のとおり変更無し。		回答のとおり変更無し。										
H18				建設維持課	工作物等の設置は河川を管理している川内土木事務所との協議や許可が必要。相談があれば、地元の方々と同行するなどして県と協議したい		地元への動きに対して対応したい		地元への動きに対して対応したい		地元の動向に合わせて対応したい。		地元の動向に合わせて対応したい。								
H18	10	朝陽	新大橋の重量制限により、平木場橋を渡る大型車両が増加している。平木場橋の強度調査の実施と問題がある場合は補修工事を	建設維持課	平成13年度に約150mを整備した。橋梁の専門家が現地を調査し、改修工が必要な場合は緊急性を動かし、必要な予算を確保したい		検討中		検討中		平木場橋については、橋梁長寿命化計画策定のための調査として、平成21年度で概略点検及び詳細点検を実施した。									○	
H18	11	朝陽	市政改革により職員数が減少しているが、道路作業班は今後も存続があるのか	建設維持課	道路維持補修等業務委託員は要望にすぐに対応できるなど必要である。市の直営のまま続けるか民間委託業務にするか調査・研究中である		平成19年度は継続		継続		道路維持班は存続となっている。									○	
H18	12(1)	八重	赤仁田川及び八重川に壁を設置し非常時に使用できるように要望する。(1) 2箇所の防火水壁設置・・・赤仁田川	消防局	視察したところ、水量は豊富で十分に取水でき、洪水期等にも水量は満たされるということを確認した。よって赤仁田川の防火水壁は必要ない		実施しない		実施しない		実施しない									○	
H18	12(2)	八重	(2) 1箇所の防火水壁設置・・・八重川	消防局	防火水壁近くに消火栓はあるが、消防水利が手薄であり、支所や地元と協議し検討する。防火水槽も含め検討するが、速やかには出来ない		19年度建設する予定である(入来支所対応)		現地を再度確認したところ、場所、水量等消防水利として有効なのか検討しましたが、消防水利の基準に達していないと判断し、現状では防火水壁については設置しないこととした。		実施しない									○	
H18	12(3)	八重	(3) 設置場への標識と利用道	消防局	自然水利を利用するのは、消防局及び消防団であり協議を掲げない。利用道は八重川の要望地点は道路脇であり、進入道路は必要ない		実施しない		実施しない		実施しない									○	
H18	13(1)	八重	市道八重線の八重三文字から草渡までの間を、危険突角箇所の視距改良を年次ごとに計画していただけるよう要望する	建設維持課	部分的に突角除去工事を行ったが解消されていない。八重線道路改良工事の進捗状況や緊急性を判断し、視距改良工事について検討する		検討中		検討中		1箇所について、20年度に測量設計を実施した。この成果を基に21年度に工事着工する予定である。					○	○				
H18	13(2)	八重	市道丸岡線は原材料支給を受けて生コン舗装をした道路。凹凸が多く離合も困難で通学路でもあるので早急な維持補修の対応を	建設維持課	入来支所と連携し予算の範囲内で維持補修したい。このような維持補修的な案件については、支所産業建設課にご連絡くだされば対応する		危険性・緊急性を考慮し、調査を行い対応する		舗装の破損箇所は、道路維持補修班で対応している。		要望箇所については、道路作業班で対応済みで完了。									○	
H18	14	八重	「ふれあい市民会議」に提起された意見・要望の途中経過を含め措置模様等の迅速かつ適切なフィードバックが出来ないか	広報室	今後は速やかに対応したい。答弁要旨は市ホームページに掲載している。進捗状況は年度末までの状況をコミ協会長及び各支所に対して回答する		回答の通り		回答のとおり											○	
H18	15(1)	八重	自治会長の事務負担の軽減化について(1) 各種申請書類や報告物についてその報告が必要か等の検討	コミュニティ課	自治会補助金の交付申請関連事務は市の規則に定める様式に限定せず、各自治会の総会資料等の添付で受理するなど柔軟な対応に努めている		自治会補助金交付申請及び実績報告に必要な添付書類は、自治会総会資料等で良いこととし、記入箇所が少なくなるように見直しを行った		自治会補助金交付申請及び実績報告に必要な添付書類は、自治会総会資料等で良いこととし、記入箇所が少なくなるように見直しを行った。				○	○						○	
H18	15(2)	八重	(2) 市当局で処理すべきものを、人手不足を事由に「行政連絡員」の自治会長に委ねていないかのチェック	コミュニティ課	配付文書に必要性や重要性を考慮し、自治会文書として配付いただきたい文書を検討の上、行政連絡員の負担を軽減できるよう調整している		配付文書は、必要性や重要性を考慮しながら、取扱ってきた。今後、調整を図れる依頼文書については、時期を統一する等研究していく		自治会長へ業務依頼をしている業務を調査し、調整ができるものについては改善を図る。					○						○	

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H18年度末)	進捗状況 (H19年度末)	進捗状況 (H20年度末)	進捗状況 (H21年度末)	進捗状況 (H22年度末)	進捗状況 (H22年度末)	地区振興計画	H18当初予算	H19当初予算	H20当初予算	H21当初予算	H22当初予算	H23当初予算	事業完成分		
H18	15(3)	八重	(3) 自治会長を育て支援するための環境づくりはどうかあるべきかの検討等、事務負担軽減策を、総合的に検討・考察	コミュニティ課	自治会長研修会の開催、自治会運営の手引きの配布をしている。送達文書は、情報提供すべき文書であるか検討し発送計画を作成している		自治会長研修会の実施。自治会運営の手引き、市民活動災害補償保険の手引き等を配布。事務負担軽減については、今後引き続き研究を重ねていく	自治会長研修会の実施。自治会運営の手引き、市民活動災害補償保険の手引きを配布。事務取扱についても丁寧に説明している。							○					○		
H18	16	大馬越	小規模の協議会は行事を行うほど、資金不足になり住民負担になる。助成金の算定方法について配慮を	コミュニティ課	「コミュニティ活性化事業補助金」を予算措置した。地区コミュニティの補助金の算定基準は、世帯規模制、世帯割制、事務運営費制の3つである		特色のあるソフト事業については、「地区コミュニティ活性化事業補助金」の活用を促す。地区コミュニティ協議会の補助金の算定基準は、世帯規模制、世帯割制、事務運営費制の3つであるが、事務運営費について、見直しを行った。一律10万円の増提案公募型補助金制度の新設	コミュニティ協議会運営費補助金や地区コミュニティ活性化補助金は、平成21年度に見直すことになっている。提案公募型補助金等、その他の補助金の活用も動めていきたい。												○		
H18	17	大馬越	市議会の開始時間の遅れが発生した時は文字放送でも流して周知を。また、議場内の様子や、より身近な市議会広報を	議会事務局	平成17年度中にテロップ放送が可能となるようシステムを追加した。画面は設置上このままである。異なるチャンネルで市内の映像を放映中		定刻の開始時間に努めている。また、市議会広報については、編集委員会で市民の皆様によりわかりやすいものに努めるよう努力している	現在、テロップ放送で対応している。													○	
H18	17	大馬越	事後報告は良くあるが、ホームページに今日どの議員が質問するとかか、土日に見るようビデオを取るとか予定はないか	議会事務局	今年度から、議会に関わるホームページを立ち上げたところである。ビデオについては今後の検討課題とさせて頂きたい		質問者・質問項目及び答弁内容等ホームページに掲載している	インターネットによる議会中継と録画放映の導入を検討した上で、録画媒体の種類、貸出しについて検討したい。	インターネットによる議会中継は、H20、12月より実施している。録画放映の導入については、H21年度に実施予定。現在、作業中である。												○	
H18	18	大馬越	ふれあい市民会議は平日の午後に開催では出席できる方は限定される。本会議の趣旨を考え市民が参加しやすい日と時間を	広報室	できるだけ参加してもらい、意見交換をしたい。平日か、休日もについても賛否両論。支所、地区コミュニティ協議会と連携をとり設定したい		回答の通り	回答のとおり													○	
H18	18	大馬越	2年に1回とのことであるが、前回もここであった。入来は5地区区組を考えると考え場所を変えるなどの考えはないか	広報室	駐車場、会場のスペースの問題等いろいろあるが、できるだけ交互にできるような方法を考えていきたい		回答の通り	回答のとおり														○
H18	その他	—	以前役員前停留所があり、その前に入来町時代の駐車場があったが、それを地権者に返し、それに伴いバス停が移動した。施設がいくつかある中で、三叉路に停車するので非常に危険を感じる。バス停の移動を検討していただきたい。今の職員駐車場が適所と思う	商工振興課	バス停の移動・新設についてはこれまででも例があるので、まず現場を見て、バス会社と協議し、なるべく早く危険性のない場所に検討したい		平成18年3月のバス停移設の際に、支所と協議した上で現在の位置に移設した。職員駐車場の場所も三叉路であり小学校の入口にある事、駐車場も民有地である事から現在の位置に移設した	—													○	
H18	その他	—	高齢者の医療は早期発見・早期治療が医療費を抑えることに繋がる。有料でいいから負担額を示し受けられるような施策は	市民健康課	実費を払って受けられるよう持ち帰って市民健康課とも協議をしたい		腹部超音波検診は実費の3,350円・骨粗しょう症検診は1,500円で対象外の方も受診できるようになっている(H18年度～)	—														○
H18	その他	—	釣尾川が一級河川であって、工事が遅れているのではないかと。川下から工事をするということだが、実際は遅った	建設政策課	釣尾川は用地を区画整理で産み出す手法を取っている。引き続き要望したい。流末の先が別々だと、各々独立しているため上下には関係ない		区画整理の見直し等実施している段階であり、改修の着手には至っていないが、区画整理の進捗に併せて改修できないかと、今後も要望を続ける	土地区画整理事業にて用地を確保次第、改修していただくよう、今後も引き続き要望していきたい	回答のとおり	回答のとおり												○
H20	1	副田	現在、薩摩川内市は防災行政無線にて災害や広報など行っているが、情報の放送の仕方を考えてほしい。例えば、火災などでは自治会名をくぐらなければ放送してほしい。また、市では各戸に配布設置してある戸別受信機のリモコンをデジタル化を行うようだが、入来地域は今後のようになるか。	消防局 防災安全課	旧入来町から要望があり、平成12年4月1日から消防局の通信指令室から直接通話放送ができる設備を設置していただいたところである。放送内容は、平成12年当初から入来町の後に、(副田、浦之名、大馬越、朝陽)自治会名の順に放送している。今後も、よりはっきりとわかりやすく、また、近くに目標物がある場合は、目標物も放送していきたいと考えている。なお、現在消防団員の方々には、直接消防の方から携帯にメールで情報配信している。		旧市町村で仕様が異なるため、総務省が推奨するデジタル波で統合整備することとしている。事業計画は、平成20年度に基幹部を整備し、市内全域屋外で一斉に防災情報を聴ける環境を整備し、平成21年度以降、戸別受信機の整備を開始する。まず、未整備地域である種崎地域、里地域、川内地域の一部について整備していく。既整備地域においても、27年度以降順次、整備年度、過去の被災状況、高齢化率など勘案して更新していく計画である。入来地域は、既に戸別受信機が整備されているので、当分の間既存の戸別受信機をそのまま使用していただくことになる。	防災行政無線は、「防災情報」並びに「行政情報」をお知らせする手段として活用しており、必要最小限の放送に努めている。火災の放送については、消防局の所管であるため、本課からの回答は控えさせていただきたい。なお、防災行政無線のデジタル化整備事業の整備における戸別受信機の設置は、平成22年度から概ね5ヵ年を目途に、未整備地区である種崎地域、里地域、川内地域の一部について整備していく。引き続き既整備地域に対して順次、整備年度、過去の被災状況、高齢化率など勘案して更新していく計画である。入来地域は、既に戸別受信機が整備されているので、当分の間既存の戸別受信機をそのまま使用していただくことになり、整備年度については、今後調整していくこととなる。	防災行政無線は、「防災情報」並びに「行政情報」をお知らせする手段として活用しており、必要最小限の放送に努めている。火災の放送については、消防局より屋外放送を行っている。なお、防災行政無線のデジタル化整備事業の整備における戸別受信機の設置は、平成22年度から概ね5ヵ年を目途に、未整備地区である種崎地域、里地域、川内地域の一部について整備を行い、平成23年度より既整備地域に対して順次、整備年度、過去の被災状況、高齢化率など勘案して更新していく計画である。入来地域は、既に戸別受信機が整備されているので、当分の間既存の戸別受信機をそのまま使用していただくことになり、整備年度については、今後調整していくこととなる。													○
H20	2-①	清色	(1)中ノ馬場通り(旧国道)の交通安全対策について ①地区外からの散策者が多く危険であるので、できるだけ地区内に大型トラック等が進入しないよう看板等で協力を呼びかけてもらいたい。	建設維持課	大型トラックの進入禁止などの規制については、県公安委員会が行うことから薩摩川内警察署へ相談をした結果、国道バイパスができ、この道路を通行する大型トラックは、少なくなっているようであるが、現状を調査し、大型トラックが頻りに通過する状況であったら、進入禁止等について今後検討していくとのことだった。市としては、大型トラックに囲道の方に迂回していただくような看板等が設置できないが、県公安委員会あるいは窓口である警察署と協議していく。		地区コミ等と協議を行った結果、伝建地区でもあることから景観を損ねるとのことで、保留中である。	地区コミ等と協議を行った結果、伝建地区でもあることから景観を損ねるとのことで、保留中である。 (地元からの回答なし)														
H20	2-②	清色	②30kmの速度制限にも拘らず、高速で走りだすという危険な車両も多く、非常に危険であるので対策を講じてもらいたい。	建設維持課	公安委員会の管轄なので、警察署へ相談をした結果、パトロールや現地調査などを行い、制限速度(時速30km)を超過して走行する車両等が多い場合は、今後速度の取締り等を行うっていくとのことだった。市としては、「スピードの出しすぎ注意」などの看板等が設置できないか、伝建地区である関係からデザインや色等について市教育委員会文化課と協議していく。		地区コミ等と協議を行った結果、伝建地区でもあることから景観を損ねるとのことで、保留中である。 ただし、路側線については、21年度で整備予定である。	地区コミ等と協議を行った結果、伝建地区でもあることから景観を損ねるとのことで、保留中である。 (地元からの回答なし) 平成21年度で、消えていた路側線、中央線を整備。														○

入来地域まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H18年度末)	進捗状況 (H19年度末)	進捗状況 (H20年度末)	進捗状況 (H21年度末)	進捗状況 (H22年度末)	地域振興計画	H18当初予算	H19当初予算	H20当初予算	H21当初予算	H22当初予算	事業完結			
H20	2-③	清色	③麓下の角倉宅前のS字カーブの所は、車両の通行上見通しが悪く危険であるので、道路の中央に「ビヨウ」を打つなどして、衝突事故等の防止を図ってほしい。	建設維持課	提案があった。道路の中央部の「ビヨウ」については、走行時の安全確保（すべり・突起）ができるか県公安委員会あるいは窓口である警察署と協議をする。また、伝建保存地区であることから設置にあたり市教育委員会文化課と「ビヨウ」及び「看板」の種類及び色などについて協議する。				地区コミ等と協議を行った結果、伝建地区でもあることから景観を損ねるとのことで、保留中である。ただし、路側線については、21年度で整備予定である。	平成21年度で、消えていた路側線、中央線を整備。路側線については、地元（保存会と地区）の意見調整がつかず保留中である。	路側線・中央線は整備済み。道路中央部の柵については、地元（保存会と地区）の意見調整がつかず保留中である。								○		
H20	2-④	清色	(2) 外来者に質問された時、歴史の知識が必要なので、伝建地区内在住者へ地区内説明冊子を配布してほしい。	文化課	平成18年度に保存会からの要望を受けて、A4版2枚で「入来館伝建地区案内マニュアル」を作成し、案内して下さる方々に配布している。今後、この案内マニュアルをパンフレットとセットにして郷土館や入来支所に準備するので、来訪者への案内等にご活用いただきたい。なお、伝建地区内在住者の皆様へのこの地区内説明冊子の配布も保存会長等と話し合いながら、できるだけ配布できるように検討してまいります。				回答のとおり変更無し。	回答のとおり変更無し。	回答のとおり変更無し。ただし、伝建地区のパンフレットに清色城跡の内容を追加した。								○		
H20	2-⑤	清色	(3) 保存会でも永年の要望でもあるが、伝建地区内公衆トイレの設置を急いでほしい。	文化課	現在、伝建地区内には自治会所有のトイレ2つ、行政所有のトイレ4つ、合計6箇所設置してある。これまで、要望のあった伝建地区内の新たな公衆用トイレについては、設置場所等を自治会や保存会とも協議を実施しているが、さらに協議を重ねながら現有の公衆用トイレとの位置関係や用地選定等も踏まえて検討してまいります。				回答のとおり変更無し。	旧増田家住宅保存修理事業の着手に伴い、見学者用のトイレを設置する方向で検討中である。地区内のトイレについては、引き続き現有の公衆用トイレとの位置関係や用地選定等を協議してまいります。	回答のとおり変更無し。										
H20	3	清色	(1) 入来館郵便局周辺から副田の富士通り口までは旧入来町時代に、町議会やPTAからの強い要望で10数基の防犯灯が設置されているが、合併後の管理はどうなっているか。未設置の箇所は、生徒の安全上、市での設置をお願いしたい。(2) 自治会と自治会の間の防犯灯は、旧入来町時代は児童生徒の安全対策として町で年次的に設置してきたが、合併後はどうなっているか。	コミュニティ課	旧入来町で設置した防犯灯は、現在85基あり、市コミュニティ課にて維持管理をし、電気代を支払っている。今回、指摘のあった防犯灯の一部において電球切れ等が生じていたので、修繕した。今後も夜間の点灯状況が悪いときは入来支所地域振興課までご連絡ください。防犯灯については、現在、市で新しく防犯灯を設置することは行っていない。自治会又は地区コミュニティ協議会で防犯灯設置費補助金を活用して設置をお願いしたい。なお、自治会の境に防犯灯設置が必要な場合は、地区コミュニティ協議会において設置していただくか、自治会間で話し合いの上、決めていただきたい。				旧入来町で設置した防犯灯は、現在85基あり、市コミュニティ課にて維持管理をし、電気代を支払っている。今回、指摘のあった防犯灯の一部において電球切れ等が生じていたので、修繕した。今後も夜間の点灯状況が悪いときは入来支所地域振興課までご連絡ください。防犯灯については、現在、市で新しく防犯灯を設置することは行っていない。自治会又は地区コミュニティ協議会で防犯灯設置費補助金を活用して設置をお願いしたい。なお、自治会の境に防犯灯設置が必要な場合は、地区コミュニティ協議会において設置していただくか、自治会間で話し合いの上、決めていただきたい。											○	
H20	4-①	朝陽	高齢化が進んでいる今日、河川愛護作業は危険の伴う作業になっている。 ① 護岸工事でより進入路（階段工）の設置ができないものか。	建設政策課	県（北陸地域振興局建設部河川港湾課）と現地調査をした結果、 ①の舟越橋下流部の川への降り口については、利用しやすいよう階段形式への改良を検討したいとの回答だった。				H21年度に階段設置予定	H21年度に階段設置										○	
H20	4-②	朝陽	② 中洲除去（河川幅が極度に狭くなっている所）はできないものか。	建設政策課	県としては、河床低下の形跡があり、中洲を除去したら護岸基礎部の洗掘が助長される懸念があるため、現在のまま様子を見たいという回答だった。 市としては、中洲を取り除くと川の中の草木を伐採するのは、河川を広げたり、構造物を造るのとは違い、あまりお金がかからないものであり、なおかつ洪水防止に対しての効果がある程度出るとのことです。ぜひ県に考えていただき予算も確保していただきたいと要望している。				回答のとおり	本年度平木場橋梁付近根固め工事を実施										○	
H20	4-③	朝陽	③ 雑木（倒木）あし等、撤去作業はできないものか。自治会では困難であるため、県と協議され何か対策をお願いしたい。	建設政策課	県の回答は、管内の管理対象河川が多く、伐採等の必要性が高い河川から対応しているということだったが、市としては実現に向けて要望していきたいと考えている。				回答のとおり	回答のとおり	回答のとおり										
H20	5-①	朝陽	本地区は、多くの畜産団地があり、毎日大型運搬車が運行している。地元車並びに住民も苦難をしいられている。また、消防車の進入も非常に困難である。 ① 市道松下田線では、舟越橋の老朽化。県道からの進入路整備と舟越橋手前の突角除去。	建設維持課	舟越橋の強度調査については、平成21年度から国の補助金を活用して橋梁長寿命化計画を策定するための調査を実施することとしている。この長寿命化計画に基づいて、架け替えや補強補修等の判断をすることしたいと考えている。この長寿命化計画を策定しなければ国の補助を受けられないため、まず長寿命化計画を作りだす。また、進入路についての突角除去や待避所等の必要性等について現地調査を行った。舟越橋手前の突角については地権者等と調整し、当面見通しの妨げになっている木や草の伐採を行いたい。				維持課で調整	平成21年度で、伐採を実施した。舟越橋については、橋梁長寿命化計画策定のための調査として、平成21年度で概略点検を実施した。	平成21年度で伐採を実施。また舟越橋については、橋梁の概略点検を実施している。										
H20	5-②	朝陽	② 市道平木場線の平木場橋について（平成18年度提出で検討中との答弁中）	建設維持課	②専門家による目視等の調査をしたところ、橋台・橋脚等についても特に異常は無いとの報告だった。こちらについても、平成21年度からの長寿命化計画を作るための調査を行い、計画に入れて優先等判断して、財政面の調整を行いながら対応していきたい。				実施にいたっていない	平成21年度で、鹿兒島県が橋梁の根固めを行った。平木場橋については、橋梁長寿命化計画策定のための調査として、平成21年度で概略点検及び詳細点検を実施した。	平木場橋については、県により根固めを行った。また、平成21年度に橋梁の概略点検及び詳細点検を実施している。										
H20	5-③	朝陽	③ 市道蒲生原線では、新大橋の重量制限と2ヶ所の突角除去。	建設維持課	新大橋は、文化財ということもあり重量制限4tを実施している。2箇所の突角除去については、現地調査を行っており、入来支所管内の優先順位等も勘案して検討したい。				同上	1箇所については、地元で伐採を行った。もう1箇所については、平成21年度で測量設計を発注済み。	残りの突角除去について、現在用地等の相談を自治会を通じて交渉中。										
H20	5-④	朝陽	④ 市道根厚礼・蒲生原線の県道取付部と市道取付部の進入口の整備。	建設維持課	④新大橋の重量制限に伴い大型車の進入が多いと思われるので市道取付部等について、地権者等の確認、協力について調整を行いたい。また、県道部については県土木、県公安との調整も行き可能な箇所から優先して実施していきたい。				同上	検討中。	検討中。										

入来地域まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H18年度末)	進捗状況 (H19年度末)	進捗状況 (H20年度末)	進捗状況 (H21年度末)	進捗状況 (H22年度末)	地区画整理計画	H18当初予算	H19当初予算	H20当初予算	H21当初予算	H22当初予算	H23当初予算	事業完成分				
H20	6	大馬越	国道328号線からの出入り口が狭く大型車両や車の出入りが困難な状況であるので、コミセン入口の拡幅工事をお願いしたい。	建設維持課	コミセン前から国道328号側への約150mの未整備区間に架かる大丸橋は昭和3年に架けられた橋なので、平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定するための調査を実施し、その調査に基づいて架け替えや補強補修等について判断をしたい。 また、未整備区間の整備については、入来地域の優先順位等も勘案して検討する。全体的な改良はできないので、部分的な対応として、国道328号との取付部の隅切りができないか、あるいは橋の上の舗装の状況が悪いということで、この補修ができないか、道路管理者の県や用地の確保等調整を行いたい。				同上		平成20年度で、橋面上の舗装は実施済み。 平成21年度で、国道328号線からの出入り口については、隅切り部分の測量設計を発注済み。									平成22年度は、未実施。			
H20	7	大馬越	小学校のトイレ入り口が狭く車椅子の出入りが不可能である。現在児童は車椅子使用の児童はいないが、例年行なわれている地区文化祭では車椅子利用者も来られるが非常に介助が大変な状況である。身障者用トイレの設置をお願いしたい。	教育総務課	車椅子利用者用の身障トイレは、最低でも一辺が2m程度の寸法が必要なため現在のトイレの大きさは、今のトイレ機能を大幅に減らすことなく、身障者用トイレを設置することは、非常に難しい。 大馬越小学校については、近いうちに屋内運動場の耐震審査を実施する予定である。耐震審査の結果によっては、直ちに補強・改修等の耐震化が必要となるので、身障者用トイレについては、その時に併せて検討し対応してまいりたい。				耐震補強に伴う大規模改造に合わせて検討したい。		屋内運動場のトイレを身障者対応とする計画である。										○		
H20	8	八重	中山間地域に拍車をかけるように、高齢化、少子化に歯止めの効かない現状がある。そこで、中山間地域を荒廃させないためにも、水田の団地間を結ぶ農道の新設(約170×3m)が必要不可欠である。このことにより、隣の耕地に行く時間と距離が短縮され、農作業の効率が望め、作業機械による事故防止にもつながる。なお、地権者の承諾は受けており、また、工事等についても自治会としても積極的に協力する。是非、ご検討されるよう要望する。	耕地課	赤仁田地区の水田については昭和60年代に、ぼんぼり整備が完了している。当要望箇所は3団地に分かれており、耕作者が各団地に重複していることから営農の面からもこの農道は必要と考えているが、農道としては財政面及び道路線形等から無理である。但し、地権者の土地提供(寄附採納)により、機械借上・原材料支給等をさせていただき、耕作道として農作業用の機械や軽トラ等が通行できるようにしていきたいと考えている。そして、将来的に農道として維持管理していきたいと考えている。				平成20年度で実施済み													○	
H20	9	八重	農道神岡線より入り込む、市道入丸岡線は、総延長1100メートル程度ありコンクリート敷設で幅員3メートルに満たない道路である。集落にとっては唯一の生活道路である。側溝がなく、降雨時は道路に雨水と土砂が流れこむなど、通行に困難をきたすほどの流量が多く危険である。また、周辺には入丸の主要産業である養鶏場があるため、大型車両の往来があることから、現在、道路の老朽化が激しくなり、その通行にも非常に不安を覚えるようになったため、道路全線の改修と側溝の敷設を要望したい。	建設維持課	全線を整備するとすると延長1,100mになるため、入丸支所管内の優先順位等も勘案し検討し対応することになる。したがって早期の整備というのは難しいのではないかと懸念。そこで、部分的な側溝整備や路面の補修については、状況をみながら対応したい。				同左		平成21年度事業で、100m側溝整備を発注済み。(平成22年4月～5月で施工予定)	22年度100m側溝整備済み。継続整備路線。 道路拡幅(改修)については、地区コミ及び地元自治会と協議していく。											
H22	1	副田	温泉場土地区画整備事業に伴う分団車庫(詰所)の早期移転について	消防局	現在、入来温泉場地区土地区画整理事業については、事業区画内の住民の方々の仮換地指定が概ね終了したところである。副田分団一部二部車庫詰所の移転については、今後、移転先及び移転補償費用等を地元の消防団や地区コミ並びに入来地区画整理室との協議を行うとともに、併せて薩摩川内市総合計画実施計画の平成23年度～25年度の3ヶ年度計画枠内での事業搭載に向けて関係部局との調整を進め、地域住民の安全・安心の市民生活の確保と消防団の活動環境の向上に向けて早期に整備できるように進めてまいりたい。							現在、入来温泉場地区土地区画整理事業については、事業区画内の住民の方々の仮換地指定が概ね終了したところである。副田分団一部二部車庫詰所の移転については、今後、移転先及び移転補償費用等を地元の消防団や地区コミ並びに入来地区画整理室との協議を行うとともに、併せて薩摩川内市総合計画実施計画の平成23年度～25年度の3ヶ年度計画枠内での事業搭載に向けて関係部局との調整を進め、地域住民の安全・安心の市民生活の確保と消防団の活動環境の向上に向けて早期に整備できるように進めてまいりたい。											
H22	2	清色	入来麓伝建地区の景観整備について(中の馬場の電柱埋設)	都市計画課	電柱埋設の手法のひとつとして、国土交通省が策定する「無電柱化推進計画」に記載する方法があるが、この事業の推進には、当該道路管理者である市だけでなく九電やN T T等の電気通信事業者等の事業への参画協力が必要不可欠となる。他の事例から見ると、厳しい状況ではないのかと思うが、今後も、情報収集や意向確認等について引き続き研究してまいりたい。 また、この入来麓周辺地区については、本市景観計画において、景観啓発地区に指定している。入来麓伝統的建造物群保存地区の制度と連動しながら、現在の歴史景観の保全・活用を図ることを景観形成方針として位置付けている。今後、市と地元地区との間で合意形成が得られた場合、景観地区への移行を目指していきたい。この入来麓伝建地区については、景観上重要であると考えている。							電柱埋設の手法のひとつとして、国土交通省が策定する「無電柱化推進計画」に記載する方法があるが、この事業の推進には、当該道路管理者である市だけでなく九電やN T T等の電気通信事業者等の事業への参画協力が必要不可欠となる。他の事例から見ると、厳しい状況ではないのかと思うが、今後も、情報収集や意向確認等について引き続き研究してまいりたい。 また、この入来麓周辺地区については、本市景観計画において、景観啓発地区に指定している。入来麓伝統的建造物群保存地区の制度と連動しながら、現在の歴史景観の保全・活用を図ることを景観形成方針として位置付けている。今後、市と地元地区との間で合意形成が得られた場合、景観地区への移行を目指していきたい。この入来麓伝建地区については、景観上重要であると考えている。											
H22	2			文化課	伝建地区の保存・活用については、当然一体的に清色城跡の周辺整備と併せて後は、整備活用を図っていかねばならないと思っている。この伝建地区については本市の貴重な観光施設の目玉・文化財として、もっと積極的に市内外にPRをしていきたいと考えている。						回答のとおり変更無し。電気通信事業者と協議を重ねていきたい。												

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H18年度末)	進捗状況 (H19年度末)	進捗状況 (H20年度末)	進捗状況 (H21年度末)	進捗状況 (H22年度末)	地域振興計画	H18当初予算	H19当初予算	H20当初予算	H21当初予算	H22当初予算	H23当初予算	事業完結分			
H22	3	朝陽	登録有形文化財の石橋「新大橋」の景観等の整備について	文化課	登録有形文化財の石橋「新大橋」の景観整備についてであるが、新大橋の案内板の石柱を後川内川の左岸側にすでに設置しているところである。また、駐車場整備については、新大橋周辺地に駐車場用地として、借上げあるいは購入する等確保できる場所がないか検討してみたいと思う。なお、新大橋の案内や駐車による危険表示については、直ちに取り組みたい。																	
H22	3			建設維持課	県の管理河川であるため、橋下の中州の除去については県へ要望してまいりたい。															○		
H22	4	大馬越	大馬越地区には11の自治会のうち、3自治会はゴールド集落となり、高齢化率は益々上昇しつつある。ぜひとも何か良い政策を講じていただき、せめて地域出身者を地域内に居住出来るような住宅政策を何か講じていただくようお願いしたい。	建築住宅課	平成17年度の「ふれあい市民会議」の中で、住宅建設の要望が出されていることから、本市が現在、取り組んでいる借上げ型地域振興住宅の建設が出来ないかの検討をしてきた。この借上げ型地域振興住宅は、児童減少地域、地域の小学校が複式学級であることが条件となっている。大馬越地区はこの条件に該当することから、建設が可能であると考えている。大馬越地区には、現在、大馬越・鹿子田・松尾の3ヶ所に26戸の市営住宅を管理しており、なかでも大馬越住宅4戸については、建築後40年以上が経過し老朽化が著しいことから、今年度、解体を行う予定である。解体後の建替えについては、現地在急傾斜地崩壊危険区域に指定されていること、背後の対策工事は完了しているもの、前方のカケ部分も高さが7mと高く、住宅建設地としては適さないと判断している。従って、この借上げ型住宅を建設するための土地の紹介等を地域の皆さまにご協力いただきたい。																	○
				農政課	浦之名の字栗下地域については、昭和50年から57年まで県営補助整備により、土地改良事業で整備された第1種農地、優良農地ということで位置付けられている。当然手続きをすれば、可能性もあるわけだが、意外に条件が厳しい。農用地除外するには、様々な条件をクリアしなければならない。それと、この場所については、中山間地域直接払い制度の交付金を受けていらいっしょる。また、農地水環境保全向上対策事業も活用されて交付金を受けていらいっしょるので、県とその代表者の方との協議も必要になってくると思う。																	
H22	5	八重	八重地区活性化のためのコミュニティセンターの増改築（調理室・事務室）について	コミュニティ課	今回の要望に関しては、施設整備の予算措置、確保に向けて積極的、前向きに取り組んでまいりたいと思っている。来年度の予算編成、査定、そして市議会における議決といった手続きもあるので、確定しているというものではないが、住民の皆さんが利用しやすく、そして、地域の活性化になられるよう、最大限の努力をしてまいりたいと考えている。																○	